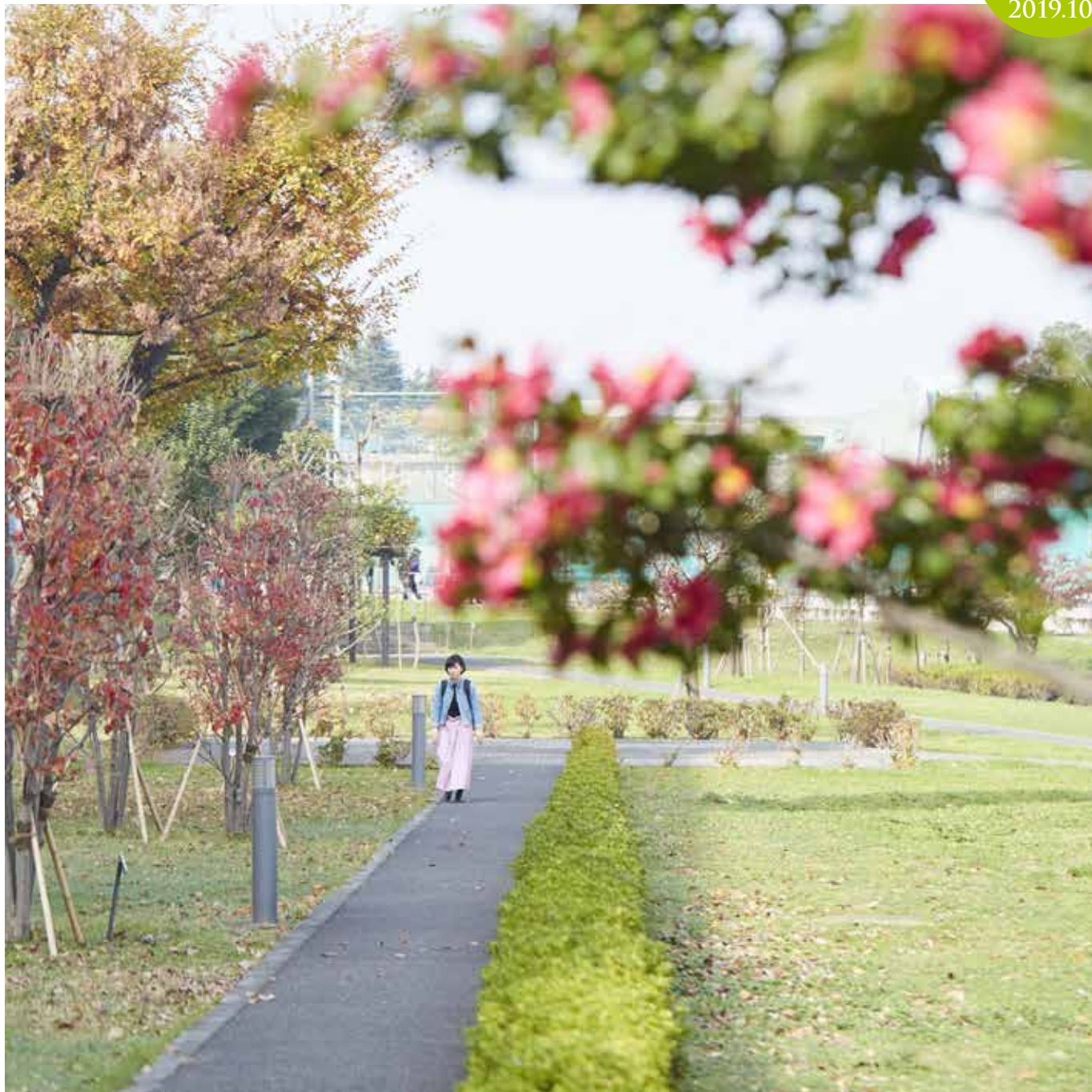


# Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.  
82  
2019.10



板橋キャンパス 16号館南側遊歩道

02-05 | 2019年緑苑祭

05 | 博物館 秋の特別企画展「絹と木綿」

06-07 | 在学生紹介 (理学療法学専攻)

08-09 | サークル紹介

10 | 学科間交流会 (狭山)

11 | 海外インターンシップ

12-15 | 卒業生の活躍 (JICA青年海外協力隊)

16-17 | 大学図書館 おすすめ図書紹介

20-23 | 附属女子中学校・高等学校

28 | 理事長コラム「世界を生きる」

**K** しなやかに、凛と生きる。  
TOKYO KASEI UNIVERSITY

東京家政大学大学院・東京家政大学・東京家政大学短期大学部  
東京家政大学附属女子中学校高等学校

注目企画  
その2

### ボラガール

東日本大震災の復興支援品を販売

総勢 150 名の部員を抱える「ボラガール」は、名前の通りボランティア活動に取り組む本学の公認サークル。板橋区にある子ども食堂や高齢者施設といった地域に根差したボランティア活動も行っていきます。緑苑祭では、東日本大震災の復興支援品を販売し、いずれも売り上げの一部が、復興支援へ寄付されます。(※価格は昨年ベースの予定価格ですので、変更される可能性があります。)

- 「なまどら焼き」(250 円) 宮城県の菓匠榮太楼の商品で、小豆とラムレーズンの二種類を販売。中あんに生クリームがミックスされていて、クリーミーな味わい。
- 「山元いちごチョコランチ」(350 円) 東日本大震災で甚大な被害のあった宮城県山元町で生産されたいちごを使ったランチ。

•「復幸」缶詰(380 円) 宮城県石巻市の水産会社が生産。実は、東日本大震災の直後、まだ救援物資が届かない現地では瓦礫の下に埋まった大量の缶詰が多くの人を救ったとのエピソードも。



昨年の販売品

ボラガールでは毎年、宮城県山元町へ東日本大震災の復興ボランティア活動をしており、「現地の方々と交流すると、当時のことを伝えたいという意味がもの凄く伝わってきます。悲しいことを経験されても前向きに明るく生きる姿に元気をもらっています」と言います。現地での活動を紹介する展示も、露店販売とは別に開催していますので、ぜひそちらもご覧ください。

### 児童文化研究会

子どもが楽しめるオリジナル脚本の人形劇



児童文化研究会は、子ども向けのパネルシアターや人形劇の公演を行います。10月26日(土)と27日(日)の両日ともに、1回目は午前11時から、2回目は午後2時から公演します。公演は1回30分程度、パネルシアター、子どもたちも一緒に参加できる手遊び、人形劇の内容となっています。なかでも注目は、児童文化研究会のオリジナル作品である人形劇! 毎年、部員たちがストーリー

リーの構成から考え、脚本を書き下ろし、劇中で登場するパペット人形や小物も、すべて手作りしています。学生たちが奮闘する人形劇、ぜひご家族でお楽しみください。会場となる151A講義室は15号館の1階、ベビーカーの方も移動しやすい場所にあります。子どもたちが優先的に観劇できるような会場で、子どもたちが地べたに座って自由に楽しめるよう、前方にはシートを敷いたスペースがあります。さらに、公演で登場する各キャラクターのオリジナル手作り指人形も販売。各キャラクターは数体ずつの販売で、特に主人公のキャラクターはすぐに完売してしまうのだとか。毎年好評の限定品ですので、是非お早めにお求めください!

注目企画  
その3

注目企画  
その4

### Ohirune

夢の国に連れていくオリジナルアクセサリー

今回取り上げる「緑苑祭の注目企画!」で唯一の有志団体の「Ohirune」(オヒルネ)は、家政学部服飾美術学科の4年生8人で出店。ハンドメイドのアクセサリーや小物を販売します。代表の宮本さん(家政学部服飾美術学科4年)によると、「『Ohirune』という店名は、企画当初からほんわかした名称にしたいと、空想や夢の世界をイメージして名付けました」とのこと。「幸せを届ける」をコンセプトに、夢の国にお客様を連れていく、という想いも込められています。扱う商品は、ピアスやイヤリングといったアクセサリーをメインとしながら、刺繍を施したハンカチなども販売する予

定。値段は、一つ500円~千円程度。全て手作りの一点モノです。「商品を選ぶ時も、身に着ける時も、お客様にワクワクしていただけるようなアクセサリーを販売したい」と言います。派手な色遣いや、動物のモチーフなど、一般のショップでは扱っていないような個性溢れる作品をラインナップします。卒業学年による出店ですので、今年限りのお店となります。自分だけのお気に入りアクセサリーを探してみたいかでしょうか?



# 2019年 緑苑祭

## 10月26日(土)・27日(日)開催

※狭山キャンパスは27日(日)のみ開催

令和初となる緑苑祭もいよいよ目前に迫ってきました!

今回は、注目企画などをご紹介します。  
皆様のご来場を心よりお待ちしております。



東京家政大学  
In 板橋キャンパス

注目企画  
その1

### 書道同好会

Superfly「Beautiful」の楽曲にのせて、カラフルで明るい書道

書道パフォーマンスの醍醐味といえば、音楽に合わせてながら、一つの作品を演者全員でダイナミックに作り上げること。静寂な室内で取り組む普段の書道とは相反し、音楽あり、動きあり、屋外の解放感ある空間で実演するパフォーマンスは、老若男女問わず毎年多くの観客を集めています。

書道同好会のパフォーマンスは一曲の音楽に合わせて、大きな紙に一つの作品を書き上げています。今年の楽曲はSuperflyの「Beautiful」。前向きな歌詞が選曲の理由で、部員たちもその歌詞に元気づけられるそう。歌詞からフレーズを抜き出して組み合わせ、総勢18名で一つの紙に言葉を表現します。

漢字が得意な部員、大きい文字を書きたい部員など、個性に合わせて担当するフレーズを決めています。歌詞の言葉に彼女たちが命を吹き込む、エネルギーあふれるパフォーマンスは一見の価値ありです。

書道同好会によると、「今年の見どころは、ポジティブ

な曲に合わせて色を多用するところ。字だけでなく、作品の背景なども色を使って見せる予定」とのこと。カラフルな作品は、書道のモノトーンなイメージを覆す、これまでに見たことのない作品になりそうです。パフォーマンスは、土曜日と日曜日の各一回、正門と百周年記念館の間にある「ロータリー」で実施します。



昨年の様子

幼稚園型認定こども園  
**東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園「あきまつり」**  
 めざせ メダリスト!! みどりがおかオリンピックをたのしもう!

みどりヶ丘幼稚園では、大学の緑苑祭に合わせて、保護者の方々の企画による「あきまつり」を開催しています。子どもたちにとって楽しい経験となるように、あきまつり委員の皆様を中心に毎年趣向を凝らした楽しい催しが繰り広げられます。

子どもたちもいつもの幼稚園とは一味違う環境に目をキラキラと輝かせ、ワクワクが止まりません。保護者の皆様お一人お一人の持ち味、特技、創意工夫などが大いに発揮され、毎年、感動と充実感いっぱいの一日となります。

今年、開催まであと1年となった「東京オリンピック」への期待をより膨らませたいと「めざせ メダリスト!! みどりがおかオリンピックをたのしもう!」というテーマで楽しいコーナーが計画されています。各国の国旗や文化への興味関心が広がるように工夫されたゲームコーナーやオリンピック種目を模して競って楽しめるコーナー、聖火トーチの形をした応援グッズ作りを楽しめるコーナーなど、お楽しみ企画がいっぱいです。

10月26日(土)



緑苑祭  
期間中も  
開館!

**東京家政大学博物館**

秋の特別企画展「絹と木綿」 2019年10月17日(木)~11月22日(金)

■開館時間：9：30～17：00  
 ■場所：板橋キャンパス 百周年記念館5階  
 ■休館日：日曜（10/27を除く）、10/22（火・祝）、10/28（月）、11/4（月）

衣服は布から、布は糸から、糸は繊維から作られる…。衣服の素材として、日本人になじみ深い絹と木綿。絹の歴史は古く、3世紀までには日本に養蚕技術が伝わっていたとされます。主に上流階級の衣装に用いられ、華やかな衣装文化を築きました。一方、木綿は14～15世紀頃に栽培がはじまり、江戸時代中期から後期にかけて庶民の材料として定着しました。

本展では、絹と木綿の着物やドレス、仕事着等を展示し、自然由来の素材が衣服になる過程に目を向けます。絹と木綿を対比することで、それぞれの素材の特性を活かす技術や工夫、用途がより明確になることでしょう。

また、世界遺産の富岡製糸場に代表されるように、繊維産業は明治時代以降の日本の近代化を支えました。「着る」はもとより、「育てる」「作る」「売る」という行為をとおして人々の生活に深く結びついた絹と木綿。製品としての絹と木綿の歴史に触れながら、衣服と社会の関係を見つめ直します。




注目企画  
その1

**紅茶部**

キャンパス内で摘み取った茶葉で、「東京家政大学産」の「タピオカミルクティー」

「TEAra～紅茶部～」では、現在もはや社会現象にもなっている「タピオカミルクティー」を販売します。注目ポイントは、なんとといっても、狭山キャンパス内にあるチャノキから作った茶葉を使用していること！

チャノキは狭山キャンパスの図書館入口横に自然発生していたそうで、部員たちが手入れをしています。



東京家政大学  
In 狭山キャンパス

**10月27日(日)**

“東京家政大学産”の他では飲めないオリジナル！ぜひご賞味ください。

注目企画  
その2

**リハビリテーション学科**


学科企画「作業療法&理学療法のワクワク体験」

リハビリテーション学科の学科企画では、作業療法と理学療法の一部を来場者の皆様に体験いただける企画を用意しています。

作業療法体験では、実際に「手指の巧緻動作のためのリハビリテーション」で利用される、様々な「作業」の体験ができます。

理学療法体験では、食事を自分の口から食べることが難しい方を想定して嚥下食等を紹介する「嚥下障害体験」や、最新の物理療法機器の体験として「パラフィンパック」、麻痺等で随意に動かすにくくなった方を想定した「片まひ体験」を実施する予定です。

このような疑似体験を通じて、障害のある人のニーズを身体で理解することができる機会となっています。皆様のお越しをお待ちしております。



嚥下食のアイソニックゼリー


**東京家政大学附属女子中学校・高等学校 10月26日(土)・27日(日)**

行列ができる人気のパン販売、各部活の発表や招待試合も必見!

今年の緑苑祭のテーマは、中学校と高等学校の全てのクラスから一つずつテーマの案を出してもらい、その中から投票を行った結果、「おいでよ KASEI の森 in 緑苑祭」に決まりました。そのテーマをモチーフにして校内を装飾しますので、楽しみにしてください。

中高の緑苑祭は、例年通りに中学合唱祭の他、校舎内ではクラス展示や文化部の作品を展示します。中でも、食物研究部のパン販売は大人気で、毎年長蛇の列ができるほど大変好評を頂いております。また、有志団体が出店する喫茶店では、タピオカやお菓子などの販売も行う予定です。疲れたときには、ご休憩にいかがでしょうか。

他に、中庭ステージや三木ホール、85周年記念体育館、プール棟、中高グラウンド・体育館などの施設では、各部の発表や招待試合などが行われ、日頃の練習の成果を披露します。生徒会本部会としても、ご来場の皆様に緑苑祭をより楽しんで頂くための企画をご用意しております。ぜひご来場いただき、ご参加ください。お待ちしております。





探求するリハビリの領域には際限がない、  
だからこそワクワクしています。

健康科学部リハビリテーション学科  
理学療法専攻2年

小澤ゆみさん

リハビリテーション学科の1年生として入学し、本年度の「在学生特待生奨学金」(前年度の成績優秀者から決定)に選ばれた小澤さん。学寮の寮長も務めています。大学での学び、学寮での生活、将来のことなど、幅広く語っていただきました。

◎理学療法士を志して  
音楽療法士と理学療法士

父が介護福祉士ということもあって、小学校の頃から福祉施設で職場見学をする機会に恵まれていました。福祉関係への興味はもともとあったのですが、中学3年生の時に将来の目標を持って進路を考えたと思って、色々な職業を調べてみました。最初になりたいと思ったのは音楽療法士。ただ、音楽大学への進学や、就職して生活するとなると厳しいのかもしれないと同時に迷いも生じて。であるならば、理学療法士になって経験を積んでから、音楽療法士を目指すキャリアもあるのではないかと思います。理学療法士を志すことに決めました。

◎東京家政大学への進学  
子ども対象のリハビリに強み

はじめは専門学校への進学を考えていましたが、色々な学部があつて様々な人に出会える大学の方が、自分の視野が広がるんじゃない?という母のアドバイスもあり、大学への進学に切り替えました。志望大学を検討する際には、理学療法士の課程が新設される大学を探しました。

◎学寮での生活  
キャンパス内で守られている安心感

母の勧めもあって学寮に入ることになったのですが、入寮前はやはり抵抗感もありました。実家が大好きで、知らない人に囲まれてホームシックになるだろうし、プライベートな空間もないのではないかと、少し憂鬱な気分でした。実際に学寮で過ごしてみると、安心して過ごせる点が何より素晴らしいです。学寮は大学の敷地内にあり、門には守衛さんもおいてくれますし、キャンパスの目の前には警察署もあります。そして、朝と夜のごはんも寮で用意してもらえらるのも助かっています。一人暮らしをしている方たちからは、光熱費を気にしているとも聞きます。もちろん節電・節水は心掛けていますが、予算を過敏に気にすることなく過ごせることも学寮の良いかなと思います。



◎教員との関係性  
距離が近くアットホームな環境

1年生ということもあるかもしれませんが、先生との距離が近くも近く、アットホームな環境で学べて本当に良かったと思っています。わからないことがあると、すぐに先生の研究室を訪ね、質問するのが当たり前になっています。学生が1つの質問をしたら、10のことを教えてくださる先生ばかりです。学生に対して労力を惜しまず親切に指導してくださる先生方の姿勢がありたく、だからこそ頑張らなきゃね、と友だちとよく話題にもなります。

新設の学部や課程に入ると、勝手なイメージなのですが、大切に育てられるんじゃないかと思って(笑)。

東京家政大学のリハビリテーション学科は、子どもを対象にしたリハビリテーション分野に強いことも魅力的でした。子どもと接することが好きなので、小児領域の技術や知識をしっかり習得できることに惹かれました。

◎理学療法士の授業  
知識を生かす実技習得

1年生は座学の授業が多かったのですが、2年生になって体を動かす授業が増えました。1年生の授業で習った知識が、実際に体を動かす授業で生かされているのを実感しています。演習では、学生同士でペアになって実技を習得します。実は患者さんの役が意外にも難しく、例えば左半身麻痺を想定する場合、この人はどう動くかなんかという想像力を働かさなければいけないですね。自分が相手に試技するときは、体を壊してしまうのではないかとこの恐怖心もあったのですが、みんな信頼しあって実践することで最近恐怖心も解消されました。

◎自主学習  
予習で増す授業の面白さ

各授業に対しては、自主学習の時間を取って特に予習を大事にしています。授業中に臨床経験の豊富な先生の経験談やエピソードを聞きながら、自主学習の時間を取って特に予習を大事にしています。授業中に臨床経験の豊富な先生の経験談やエピソードを聞きながら、自主学習の時間を取って特に予習を大事にしています。授業中に臨床経験の豊富な先生の経験談やエピソードを聞きながら、自主学習の時間を取って特に予習を大事にしています。

◎寮長としての務め  
楽しみながら、時に厳しくも

学寮では今年から寮長を務めることになりました。七夕会やクリスマス会といった季節のイベントを企画して運営したり、寮生が全員集まる学寮会を仕切ったりしています。学寮会は毎月開くのですが、学寮で生活する上で、ここは改善していきましようという内容も取り上げています。例えば、洗面所を使ったらきちんと流してキレイにしましょうと言っても、個人によって「キレイ」の基準が違うことがそもそもネックだったりします。副寮長とも、今年は基本的には楽しくやっていこうと進めています。和やかで楽しい雰囲気ばかりになると気の緩みや甘えが出てしまうので、苦言を呈することも挟みながら、緩急つけて対応するようにしています。

◎将来に向けて  
知識や技術習得に際限なし

卒業後は小児を扱う施設で理学療法士として働きたいと考えています。理学療法士の経験が積めたら、将来的には音楽療法士を目指すことも視野に入れていきます。

今は目の前のことについていっばい、というのが正直なところです。1年生の時に、色々な病院や施設へ見学に行く授業があったのですが、理学療法士という職業は多岐にわたる施設で活躍できることを知りました。同時に、これから自分が修

—— 小澤さんって、こんな人! ——

**好きな食べ物:**  
なす(特に母が作ってくれる、なすの煮浸し)

**休みの日の過ごし方:**  
特技は篠笛、月一回は山梨の実家に帰省して、篠笛を習っています。

**座右の銘:**  
「横に逸れるな、上に跳べ」  
(中学校の担任の先生が教えてくれた言葉)

# 狭山同好会「保育ボランティアサークル ぴっちな」



今年は1年生が18名入部し、全体で36名の部員で活動しています。昨年よりも部員が大幅に増え、できる活動も増えたことで、「児童館や子育て支援センター等からの依頼を受け、要望にあった人数のシフトを組んでボランティア活動をしています」(黒澤さん)

印象的なサークル名の「ぴっちな」とは、小さい女の子を意味するイタリア語。女の子たちで頑張る子育て支援サークルの意味を込めて、名付けられたそうです。今回は、部長の黒澤さん(子ども学部子ども支援学科2年)と副部長の大塚さん(子ども学部子ども支援学科2年)にお話を聞きました。

## 依頼の要望にあったボランティア活動を

子ども支援学科の2人が「ぴっちな」に入部した理由は、子どもたちと触れ合う経験を多く積んでおきたいという思いがあったからでした。実際の活動について、「例えば、特別支援センターで障がいを持つ子どもとご飯を一緒に食べるとこだわりが強かったり、一つのこと集中することが難しいなど、大学の授業で習った障がいを持つ子どもの特徴を目の当たりにしました。授業では具体的にイメージできなかったことが、こういことだったのかと、身をもって理解できました」(大塚さん)

もともと特別支援の進路を考えて本学に入学したという大塚さんは、こういった経験が将来へのモチベーションをぐっと上げてくれると語ってくれました。



「ぴっちな」幹部の2年生

## 団体運営に必要な情報共有や意思疎通

「ぴっちな」の運営は2年生が中心となって行っています。2年生の部員は5人、全員何かしらの役割についていることで、「人数や活動も多くなってきたので、人数や活動も多くなってきたので、5人

## 子どもと触れ合う経験を多く積みたい

夏休みには、児童館で小学生と遊ぶ活動や、発達支援センターでプールの塩素濃度を管理するお手伝い、子どもと一対一で遊ぶ活動などに取り組みました。今年からは、狭山キャンパス内にある「かせい森のおうち」(保育所)でのボランティア活動も始まりました。「ぴっちな」のボランティア活動は、多様な施設で色々な年代や個性を持つお子さんとの交流はもちろん、その親御さんを含めた子育て家庭の支援にも繋がっています。

## 秋の「緑苑祭」、冬のクリスマス会

本学の文化祭である「緑苑祭」にも参加予定で、晴天の日にはサッカー教室を、雨天の日には制作教室(松ぼっくりや木の実を使用する予定)を企画しています。(※狭山キャンパスの緑苑祭は10月27日(日)開催。「ぴっちな」の会場は、晴天時IIグラウンド、雨天時II号館ラウンジの予定です。なお、会場は変更の可能性があるので、最新の情報は当日のパンフレットをご参照ください。)

# 狭山同好会「看護ボランティアサークル」



部長の吉田さん(右)と副部長の山下さん(左)

現在(2019年8月取材当時)、総勢約95名の部員数を誇る「看護ボランティアサークル」は、2015年に設立した狭山同好会です。今回は部長の吉田さん(健康科学部看護学科2年)と副部長の山下さん(健康科学部看護学科2年)にお話を聞きました。

## 高齢者とのコミュニケーション

サークルの定期的な活動として行っているのが、狭山にある老人福祉施設「不老荘」でのボランティア活動。2カ月に一度のペースで、「健康カフェ」の「たまご」という名称で、お茶やコーヒーを提供し、ハンドマッサージや血圧測定



ハンドマッサージの様子

この経験は、実習の際にも役立つところで、自分とは異なる年齢層の方との接し方や会話の糸口を見つける良い機会になっているそうです。

毎年、夏休みには南三陸町の訪問看護ステーションで1泊2日のボランティア活動をしています。訪問看護師の方と患者さんの自宅へ同行することもあります。東日本大震災の復興ボランティアとして現地を訪れると、街並みは震災直後の瓦礫の山の風景とは変わり、表面上は復興したように見えますが、被災された方々と交流しているからこそ感じる想いがあります。「気持ちの復興という観点では、まだ全然至っていないと思います。みなさんそれぞれに事情を抱え、家族を亡くされたり家を流されたりしています。気持ちの整理がつく時間には個人差がありますし、気持ちの復興というのは、いつになれば復興しましたというものはなくて、何年も何十年もかけて自分の中で消化し続けていくものかな。現地を訪れて初めて、心を打たれました。」(吉田さん)

## 被災地で知った「気持ちの復興」

将来は看護師になるべく、勉強とサークル活動に動いむ彼女たち。最後に、将来どんな看護師になりたいか聞いてみました。「南三陸町のボランティア活動で、ある高齢の利用者のご自宅へ訪問しました。一緒に同行した訪問看護師のことを『あの人は、本当に良い看護師さんなんだよ』って教えてくれました。『中には決められたことだけをやって、さっさと帰っちゃう人もいるけど、そういうのは寂しいじゃない。あの看護師さんは話を聞きながら丁寧に対応してくれる。だから、貴女もそういう看護師さんになってね』と言われたのを、ずっと忘れないでいます」(山下さん)

## 心と心の関わりを目指して

人を助ける技術を身に付け、やるべき仕事をこなしながらも、患者さんと向き合い、心と心の関わりを大事にできる看護師になりたい。ボランティア活動を通じて、目指すべき看護師像が具体化することで、看護師への道のりがより色濃く充実したものになりそうです。



高齢者施設で利用者と合唱

# 海外で働く夢に向かって “黙っていたら負け”

## 第4回2019年度「海外インターンシップinニュージーランド」

期間：2019年8月18日(日)～9月1日(日)15日間  
研修先：ニュージーランド JTBオークランド支店  
研修内容：旅行手配業務のアシスタント



人文学部  
英語コミュニケーション学科3年  
**寺林 碧さん**



修学旅行受け入れのテーブルセッティングも



JTBオークランド支店のカウンターで

**将来海外で働きたい自分にぴったり**

Q:「海外インターンシップ」に参加した動機は?

A:「3年生になったらインターンシップを経験した方が良く、キャリアセミナー等で聞いていたので、インターンシップをやりたいと思っていました。将来いつかは海外で働きたいと思っていて、インターンシップや海外で働く経験、ホームステイができるなんて、このプログラムはまさにぴったり!と思って応募しました。」

Q:「海外インターンシップ」はどのような内容でしたか?

A:「JTBオークランド支店内の複数の課をまわって、スタッフのアシスタントをしながら、デスクワークや外勤を経験しました。埼玉県の小学校から来た修学旅行生を迎え入れて会場の準備等したり、ツアーに組み込む候補になっていたカフエの下見に行ったりもしました。ギフトショップなどの年末年始の営業時間をホームページで調べ、掲載されていない場合はお店に問い合わせる情報収集し、

**仕事は一人ではできない**

Q:「働くことが楽しく感じましたか?」

A:「働いてみてわかったのは、自分一人ですべて完結する仕事はないということ。情報を得るにしても誰かに聞かないといけないし、メールでも電話でも全て人と接点を持つことになり。当たり前のことなのですが、他のスタッフやクライアントと協働すること学びました。」

実際に、スタッフ同士のチームワークを目的にしている場面もありました。ワイナリーツアーでトラブルが発生し、朝から担当スタッフは現場に赴いてオフィスにはいなかったのですが、オフィスに残る他のスタッフはワイナリーに予約を確認したり、バスの運転手と行程を逐一共有したりしていました。現場で解決にあたるだけでなく、オフィスでもバックアップをしていて、改めて仕事

**日誌での振り返りが成長のカギ**

Q:「海外での生活はどうでしたか?」

A:「海外での生活は本当に楽しくて仕方なかったです。ホームステイ先では、ホストマザーが仕事に行く前に「エンジョイ!」って送り出してくれました。楽しんでねって言われると元気がなりますし、挨拶ひとつとっても日本とは違ふことが新鮮でした。現地では「黙っていたら負け」という意気込みで臨みました。ホームステイ先でも思ったことは言うようにしていました。日常生活でも現地の人の行動や台詞を真似してみたり。例えば、バスで乗客が運転手に「Good Morning」と声をかけていたら、自分も同じようにしてみるとか、自分から発することを意識していました。」

Q:「海外インターンシップに興味がある人へアドバイスはありますか?」

A:「海外で働きたいと思っている人は、参加してみる価値は絶対にあると思います。働くことのイメージを具体的に掴めず、現場を見ることができるとは貴重です。」

また、海外インターンシップ中には日誌を英語で書くことをオススメします!わたしも毎日やっていた、自分がその日に何をしたのか、何を達成することができたのか、それが将来にどう役立つかを書いていました。振り返りの時間や記録が貴重な経験を成長へと進化させてくれると思っています。」

## 「学科間交流会」 in 狭山キャンパス (2019年9月5日実施)



グループワークの様子

映画鑑賞 120分

### 「あの日のオルガン」

太平洋戦争末期、20代を中心とした若手保母たちが、子どものいのちを守るため、53人の園児を連れ、まだ誰もやったことのない集団疎開を敢行したいわゆる「疎開保育園」を題材として、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。

グループワーク 60分

### 映画の疎開保育園は、成功?失敗?

看護学科・リハビリテーション学科・子ども支援学科の3学科の学生が混在するグループで、「若手保母が国の決定を待たず、園児を連れて集団疎開したのは、成功だったのか?失敗だったのか?」をテーマにディスカッション。まずは自分で考えた結論とその理由を付箋に書き、次に「成功」と「失敗」ゾーンに分けたホワイトボードにその付箋を貼り、同意見などをまとめながら、グループ内で議論を深めました。

発表&まとめ 20分

### 異なる視点からの見方や意見を共有

数グループが討論内容を発表。「成功だった」の意見が多数を占めました。成功と失敗の両観点から多角的な理由が紹介されました。

成功だった

- 親は自分の子どもたちを生き延びさせる目的で疎開をさせたのだから、たとえ東京に残った家族が亡くなってしまったとしても、子どもの命を守ることができたから
- 広々とした屋外で遊ぶなど、東京ではできない経験ができて、疎開先で子どもたちが楽しそうに過ごしていたから
- 疎開したことによって親のありがたみを知って、子どもが成長できたから

失敗だった

- もし戦争が終わらなかつたら全員が生き延びられた可能性がないかもしれないから
- 自分だったら生き残っていても嬉しいと思えないし、家族と離れたことを後悔すると思うから
- 両親と離れることでストレスが溜まり、幼少期を情緒不安定で過ごすことになるから

映画監督による講評 10分 監督・脚本:平松 恵美子氏

### 答えは段階や時期によって変わる

※以下、抜粋

映画の中で、「自分たちは正しいことをしているか?と君は言ったけれども、そんなこと今の自分たちにはわからない。今いる子どもたちが生き延びて大人になったときに答えが出るんじゃないか」というセリフがあります。正しい答えというのは、今すぐ出るものもあるけれども、一週間後、一か月後、一年後、あるいは十年後に出ることもあります。特に人と関わる仕事に就く皆さんは、必ずそういう機会に出くわすと思います。成功か失敗かをテーマとして提案しましたが、どの段階で失敗なのか、どの段階で成功なのか、それは段階や時期によって変わることでもあります。未来を長期的な視点で見ている、そんなことを考えるきっかけになれば嬉しく思います。



平松恵美子監督と記念撮影

◆現在、狭山キャンパスでは看護学科・リハビリテーション学科・子ども支援学科の学生が学んでいます。しかしながら、3学科共通の正課がなく他学科の学生との交流機会が少ないことが課題でもあり、今回の「学科間交流会」が企画されました。

◆参加学生からは、「今まで全く関わりがなかった他学科の学生と少しは距離が縮まった気がした」「一人ひとり考え方が違って、色々な意見を聞くことができて刺激を受けた」「戦争中の保育についても知れてよかった」などの感想が寄せられました。

◆同じキャンパスで学び合う学生同士の交流機会として、狭山キャンパスで学科対抗球技祭～フットサル大会～(10～12月)が開催されます!試合の様子や結果は次号でお伝えします!

一人ではできないと実感しました。社会人に囲まれて仕事を体験すると、働くことの具体的なイメージを持つことができました。それぞれのスタッフには担当や役割が与えられ、それは同時に責任が伴うことを意味し、だからこそ真剣にプロ意識を持って仕事に向き合おうと、そこがアルバイトとの違いだと、感じました。



高校3年生の夏休みになっても栄養学科へ進むことを実は考えていませんでした。文系理系すら迷っていたんです。将来のことを考えたとき、好きなことを仕事にしたいなという思いが強く、それなら一番好きなことって何だろう?と想像したら、「ごはん(食事)」というワードが浮かびました。その直感を信じて、栄養学科に進学することを決意。国家試験の合格率を参考に、東京家政大学への入学を決めました。

進路選択と大学時代  
「どっち」という直感を信じて

大学時代を振り返ると、真っ先に国家試験に向けた勉強を思い出します。人生の中で一番勉強したのではないかと思うくらい、朝から晩まで机に向かっていた記憶が今でも残っています。でも実は、日々のレポートの多さや、1限の授業へ出席するための早起きのほうが大変でした。(笑)



展望台から見た街全体

JICA青年海外協力隊への応募  
自分にもチャンスがあるならば

大学時代に、ザンビア共和国(アフリカ南部)でJICA青年海外協力隊として活躍している方の記事を目にしました。当時、自分の周りにも海外へ語学留学を経験した友人もいましたし、海外に興味がないわけではなかったのですが、自分が海外に行くというイメージまでは持っていませんでした。ところが、講演会でJICA青年海外協力隊について話を聞き、実際に説明会にも参加してみると、思いが変わったんですね。「自分にもそのチャンスがあるならば、経験してみたい」と。この思いが深まって、今に至っている、といったところです。

グアテマラでの活動内容  
栄養に関する正確な知識を

グアテマラでの配属先は、県の保健省事務局。主な活動内容は、田舎地域にある診療所スタッフと低栄養児を持つ家庭を訪問したり、調理実習を開催したりしています。グアテマラでは、慢性栄養失調児が国レベルで多いことが課題。貧困層が多いことも大きな原因ではあるのですが、そもそも離乳食の始め方や調理方法を知らないために、乳児に大人と同じ食事を与えていることも珍しいことではありません。

また、健康のために野菜を食べないといけないことは知っていても、理由や根拠を知らなかったり、調理方法のバリエーションを知らないから実践できなかったり、といったことが原因で、近年では生活習慣病も増加してきています。

このような状況の改善に向け、食事の大切さについて一緒に考える機会を作り、正確な情報を彼らに届けることが重要だと考えて活動に励んでいます。また、わたしが任地を去った後の継続性も見据え、住民に寄り添う側である看護師や教育者に向けても、栄養に関する研修会や調理実習などを通じた啓発にも取り組んでいます。

海外へ行くイメージすら持っていなかったわたしが、中南米の日本人ひとりの地で、“栄養”を通じた国際協力に。チャンスがあるなら挑みたい、何でも自分の糧になるはずだから。



JICA青年海外協力隊  
(グアテマラ・栄養士)

高木美穂さん

家政学部栄養学科管理栄養士専攻  
2015年卒業

—— グアテマラ共和国 ——

メキシコの南に位置している国で、日本との時差はマイナス15時間。国土は、日本の約3分の1の大きさです。年中暑くもなく寒くもなく、とても住みやすい気候のため「常春の国」と呼ばれることも。公用語はスペイン語。主食は、トウモロコシの挽き粉を薄く円形に伸ばした「トルティーヤ」、日本の米と同じく特段味はついておらず、トマト味で煮込んだ肉やフリホーレス豆と一緒に食べます。  
(参照:「グアテマラはどんな国?」<https://www.jica.go.jp/guatemala/office/others/what/02.html>)

本号の「卒業生の活躍」は、日本から約1万2千キロ離れた中南米はグアテマラからお届けします！ JICA青年海外協力隊の隊員として活躍する高木美穂さんは、家政学部栄養学科管理栄養士専攻の出身。2017年12月から2年間の任期で現在グアテマラに派遣されています。現地での活動の様子などを紹介します。

★高木さんってこんな人★

出身地:千葉県 座右の銘:百聞は一見に如かず  
帰国したら食べたいもの:両親が作ってくれる料理(カブのシーチキン煮込み、ズッキーニの肉巻き、炊き込みご飯など)



診療所



診療所に栄養講話と実演



手洗いの指導

異文化の中での暮らし  
日本人が一人の地域だからこそ

国が違えば文化は当然違う、だからこそ、色々な考え方や文化を受け入れた上で、自分の考えをしっかりと述べることも、自分にとっても相手にとっても、大切なのだと感じています。わたしが派遣されている地域には、日本人はわたし一人、ましてアジア人すら他に居ません。同僚にとって日本人であるわたしの意見は貴重で、意見を聞かれる機会も多くあります。その度に、自分の意見を持ち伝えること、これが信頼関係を作っていくのだと思います。日本国内でもそれぞれ様々な意見を持っているのだから、国が異なればなおさらで、考え方や感じ方が違うのは、ごく普通のことと受け止めています。「えーっそーっ」と思うことは何度もあり、その都度、「じゃあ日本ではどうなの？」って質問されるんですね。毎回、異文化交流として楽しんでいきます。直面するのは同じ出来事なのに、多種多様な意見に出会えるのって、新しい発見。自分の視野を広げて、人としても成長できればと思っています。



診療所にて同僚と



家庭訪問へ

グアテマラの魅力  
困ったときには手を差し伸べてくれる

グアテマラの魅力は、何と言っても人が温かいこと。わたしが外国人だからなのか、道ですれ違う際には挨拶をよくされますし、直属の同僚でなくてもホームパーティーに誘っていただくことも、しばしばあります。ホームステイ先の家族もわたしを家族の一員として迎えてくれていることが日頃から伝わってきて、もしも自分がホームステイを受け入れる立場になったら同じように親切にできるだろうか...と思うと、頭が上がりません。とてもありがたく、本当に素敵です！  
仕事でもプライベートでも時間にルーズなことがグアテマラの特徴の一つとして挙げられますが、それでも、困ったときには手を差し伸べてくれる優しさに溢れているんです。だから、ルーズな一面も許せちゃうんですよね(笑)  
また、色鮮やかな小物や洋服もグアテマラの魅力に挙げられます。こちらでは刺繍文化が発達しており、



色鮮やかな布

日本にはない独特のデザインや色使いで地域性を表現します。わたしが住んでいる地域は標高2500メートルにあり、朝晩は特に冷えるので帽子やフラーなどの防寒グッズが必須。家庭のママさんたちは、みんな手編みで作れるので、わたしも現在教わっているところです。

自身の成長

「恥ずかしく」から、もっと会話したい

JICA 青年海外協力隊に参加する前は、外国語を勉強することが苦手で、日本語だけで生涯を過ごそうと思っていました。海外生活が初めてのわたしにとって、派遣先でスペイン語を話さなければならぬ環境になったとき、「間違えて恥ずかしい」という思いがありました。それでも、わたしが喋る拙いスペイン語を、家族や配属先の同僚は嫌な顔をせずにしっかりと聞いてくれました。この人たちともっとたくさん話したい、そんな思いが自然に芽生えました

ね。勉強して覚えたスペイン語の単語や文法を次の日に使ってみて、会話が成り立った時の喜びは、自分の活力となっています。今回の JICA 青年海外協力隊を通して、他国の方々と交流に抵抗感がなくなりました。今後は、来年の東京オリンピック・パラリンピックなどを控えています。ますます国際化が進む日本で、日本人として他国からの方々を温かく迎え入れ、皆さんに日本を好きになっていただきたいと思っています。



看護スタッフとの研修会

高木さんの平日のスケジュール



★高木さんから後輩へのメッセージ★

「やりたいときに、やりどき」

何かを始めるのに早いも遅いもないと思います。きっかけやチャンス、タイミングがあるなら挑戦してみるべきだと思います。結果がどうであれ、自分の糧になるはずですよ。

JICA 海外協力隊

JICA 海外協力隊とは、開発途上国からの要請に基づき、青年海外協力隊等として派遣され、現地の人びとと共に途上国の課題解決に取り組むことを目的としています。任期は原則 2 年間で、帰国後は、日本や世界で協力隊経験を生かした活躍が期待されています。青年海外協力隊は年齢が 20 ～ 45 歳が対象、アジア・アフリカ・中南米・

大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力します。

本学で学んだ専門知識をいかし、これまで多くの卒業生が派遣され、活躍しています。

(参照：「JICA 海外協力隊 事業概要」 <https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/publication/pamphlet/pdf/gaiyo.pdf>)

※JICA / ジャイカ : Japan International Cooperation Agency



### 狭山図書館編!

2018年度の企画展示「みんなのお気に入りの本はどんな本?ポップと本の展示」より、ボランティア参加学生のおすすめ本です。



#### アルフレッド・アドラー 人生に革命が起きる100の言葉 アルフレッド・アドラー [述] 小倉広 解説

理屈でも屁理屈でもない、格言を押し付けられることもない、心にまっすぐ、でもしみわたるように届く言葉たち、今までモヤモヤしていたこと、解決できずに悩んでいたことが一つの糸となってつながり、ほどかれてゆく。そんなすっきりした感覚をぜひ味わっていただきたい。人生はまだまだおもしろい。  
146.1/A16 4919605

#### おおきな木 シェル・シルヴァスタイン 作 村上春樹 訳

成長していく男の子に愛を貫いた木の物語。村上春樹の他、本田錦一郎も翻訳をしており、日本には2種類存在します。わずかな違いですが、視点が異なり2度楽しめます。すぐに読み終わるのでぜひ今読んでみてください。  
K65.42/Si4 4221547

#### へんしんトンネル あきやまただし 作・絵

このトンネルをくぐると、なぜか色々なものがへんしんしてしまうのです。この本はアルバイトをしていた保育園に置いてあり、知りました。この本を子どもたちにせがまれ読みました。絵も可愛いです、声に出して読むととても愉快になります♪おススメです!  
K65.41/A38 4221549

#### ぐりとぐら:てんじつきさわるえほん 中川李枝子 さく 大村百合子 え

世代を超えて圧倒的な人気と知名度を誇る絵本です。ぐりとぐらのストーリーが楽しめる絵本シリーズは7冊あるんです。是非他のシリーズも読んでほしいと思います。知らない方も多いと思いますが、視覚障がい者(児)に向けた点字付きさわる絵本「ぐりとぐら」もあります。子ども支援学科の学生、障がいのあるお子さんにおすすめです。家政大の図書館にもあるので、是非読んでみてください。  
K65.41/O69 4206891

## おすすめ図書紹介します!

秋の夜長は、読書にぴったり!  
図書館から、おすすめの図書をご紹介します。  
ぜひこの機会に読んでみてはいかがでしょうか?

### 板橋図書館編!

図書館学生ボランティア団体Library Mates  
が書店での選書ツアーで選んだ本や、ポップ  
班が選んだ本をご紹介します。

#### おさんぽ美術館: ぶらりとめぐるアート・雑貨・カフェ 杉浦さやか 著

表紙のイラストで一気に惹かれました!美術館を中心にしながらも、近くの雑貨屋やカフェなども紹介してくれていて、この本を持ちながらお出かけしなくなるような1冊です!  
706.9/Su48 1842977

#### 自然を楽しむ温泉&ウォーキング: 関東周辺

旅した気分になります。徒歩時間、距離、ベストシーズンなどが詳しく書かれていて、とてもわかりやすいです。その土地の名物なども載っていて、旅行の時に役立つ情報満載です!  
291.3/Sh93 1843052

#### 翻訳できない世界のことば エラ・フランシス・サンダース 著イラスト 前田まゆみ 訳

日本語や他の言語にはうまく翻訳できない、世界中の言葉が載った本です。言葉も解説もとても詩的で、その国の文化・習慣ならではの言葉が並び、さし絵もカラフルで、とても可愛く、ただながめるだけでもとても楽しい本です。日本語も収録されているので、ぜひ読んでみてください。  
804/Sa62 1842148

#### Amazonで変なもの売ってる 谷山浩子 著

この本のタイトル"Amazon"はご存知の方も多いのではないのでしょうか?タイトル通り、Amazonで売っている変なものを次々買っては、不思議な体験をすることになる姉妹を主人公にしたファンタジー短編集です。シュールで、ユーモラスで他の人の夢を覗いているみたいなんだからよくわからなさを含めて、魅力的な本です!ぜひ読んでみてください。  
913.6/Ta88 1840288

#### 季節を彩る「はな言葉」: 花のドレスと花言葉109 葉菜桜花子 著

花のドレスを着た女の子がかわいい!春夏秋冬の花を身にまとった女の子たちが、とにかくかわいい1冊です。花の可憐さ、華やかさを楽しみたい人におすすめ。  
793/H28 1843946

### あなたの「押し本」教えてください!

板橋図書館の別館では、「特別企画@図書館別館 押し本」を10月末まで開催しています。学生や教職員なら誰でも参加可!それぞれのイチオシ本がコメントとともに並んでいます。これまでにコメントが投稿された図書を一部ご紹介!

10月末まで、  
板橋図書館にて  
実施中!



#### 武道館 朝井リョウ 著

アイドル戦国時代と呼ばれる現代を風刺したようなお話でもおもしろかったです。(学生より)  
913.6/A83 1840822

#### 銀二貫 高田郁 著

頑張って貯めた300万円、他人のために差し出せますか?そんなのムリ!!「キョウ」も「ほろり…」もあるおいしい1冊。時代小説を読んだことのない方、ぜひこの本でデビューを♪(図書館職員より) 910/Ta28 1843395



#### くちなし 彩瀬まる 著

初めて読んだ時、衝撃を受けました!メディア化される本が多い中で、この本は絶対に映像化できない小説だけの美しさが表現されています。(学生より) 913.6/A98 1843559

#### ねにもつタイプ 岸本佐知子 著

2,3ページの短いエッセイがたくさん詰まった1冊。どれもクスッと笑みがこぼれます。わたしも小さいころ似たような空想をしてたなあ。(図書館職員より) 914.6/Ki58 1831284

#### アイネクライネナハトムジーク 伊坂幸太郎 著

人生は楽しいことばかりじゃない、でも思いがけない所で奇跡が起こる。そんな奇跡を集めた短編集です。まったく別のストーリーのようで、全ての話がつながっています。最後まで楽しめる1冊です。  
910/I68 1842989

#### あれたべたい 柊野浩一 ぶん 目黒雅也 え

「あれ、たべたい!」でも、あれってなんのこと?ぼくがばあばと食べたものが何だったのか、お父さんと2人で考えながら探していくお話です。親子で一緒に何だろう?と考えながら読み進めていくと楽しめると思います。言葉遊びのような掛け合いも面白い1冊です。  
K65.41/Me19 1842156

# 一般入試・センター試験利用入試スケジュール

東京家政大学・東京家政大学短期大学部

2020年		1月		2月			3月			
一般入試	統一地区	出願期間 1/8 (水)～1/21 (火) 消印有効	試験日 1/25 (土)・26 (日)	合否発表 1/29 (水) 14:00	入学手続締切 【一括・分納一次】 2/3 (月)	入学手続締切 【分納二次】 2/6 (木)				
	1期	出願期間 1/8 (水)～1/30 (木) 消印有効			試験日 2/4 (火)・5 (水)	合否発表 2/8 (土) 15:00	入学手続締切 【一括・分納一次】 2/12 (水)	入学手続締切 【分納二次】 2/17 (月)		
	2期	出願期間 1/8 (水)～2/22 (土) 消印有効						試験日 2/28 (金)	合否発表 3/4 (水) 15:00	入学手続締切 【一括・分納一次】 3/9 (月)
センター試験利用入試	A日程	出願期間 1/8 (水)～1/17 (金) 消印有効				合否発表 2/8 (土) 15:00	入学手続締切 【一括・分納一次】 2/12 (水)	入学手続締切 【分納二次】 2/17 (月)		
	B日程	出願期間 1/8 (水)～2/3 (月) 消印有効				合否発表 2/8 (土) 15:00	入学手続締切 【一括・分納一次】 2/12 (水)	入学手続締切 【分納二次】 2/17 (月)		
	C日程	出願期間 1/8 (水)～3/7 (土) 消印有効							合否発表 3/14 (土) 13:00	入学手続締切 【一括】 3/18 (水)

## 一般入試・センター試験利用入試の複数出願（併願）

1つの試験で複数の学科・科・専攻に出願（同日併願）したり、複数の日程に出願（他日併願）することが可能です。

本学への複数出願（併願）は下記のとおりです。

### (1) 一般入試

#### 同日併願

1つの受験で同じ試験日の複数の学科・科・専攻に出願（併願）できます。複数に出願した場合はそれぞれに合否結果を発表します。

同日併願の例 統一地区 1/25 大学児童学専攻、育児支援専攻、子ども支援学科、短大保育科の複数に出願…各々に（4つの）合否結果を発表します。

#### 他日併願

試験日、期の異なるものへの複数の出願（併願）。各々の試験を受けるもの。期が同じでも試験日が違うものは2日間出願できます。

他日併願の例 統一地区 1/25 栄養学専攻、1/26 管理栄養士専攻

### (2) センター試験利用入試

大学入試センターの行う試験を受験したその成績のみで選抜します。

#### 注意点

一般入試・センター試験利用入試では、出願する学科・科・専攻によって指定する入試科目が違う場合があります。1つの受験で複数の学科・科・専攻を出願する場合は、各々の指定した科目を受験していることが併願の条件です。入試科目の確認をしてください。

●看護学科の一般入試は、リハビリテーション学科のみ併願（3科目中高得点2科目を使用）ができますが、それ以外の他学科・科・専攻の併願はできません。センター試験利用入試では、他学科・科・専攻との併願が可能です。

## 検定料の割引

一般入試・センター試験利用入試に複数出願する場合は検定料の割引を行っています。基本検定料は、一般入試 34,000円 センター試験利用入試 14,000円です。

### ●一般入試に複数出願する場合の検定料

1出願 34,000円、2出願目以降の同日併願は、1出願ごと 10,000円

- 同じ試験日での複数の学科・科・専攻への出願・1つの試験成績を複数の選抜に利用するもの

他日併願は、1出願ごと 20,000円

- 1出願目とは異なる試験日及び異なる期への出願・試験を受けるもの

### ●センター試験利用入試に複数出願する場合の検定料

1出願 14,000円、2出願目からは 10,000円

- 一般入試・センター試験利用入試では、合否結果をみてから、再度出願できる日程になっています。志願票を改めて出す場合も検定料の割引は継続します。（同じログインIDを使って出願してください）
- 一般入試は一般入試への複数の出願、センター試験利用入試はセンター試験利用入試への複数の出願が検定料の割引対象になります。

	1出願目	2出願目	合計				
一般入試	基本検定料	34,000	+	34,000	=	68,000	
	同日併願	34,000	+	10,000	=	44,000	¥24,000 割引!
	他日併願	34,000	+	20,000	=	54,000	¥14,000 割引!
センター試験利用入試	基本検定料	14,000	+	14,000	=	28,000	
	併願割引	14,000	+	10,000	=	24,000	¥4,000 割引!



入試科目・入試会場等、入試に関する詳細は本学HPでご確認ください。



〈お問い合わせ先〉  
東京家政大学アドミッションセンター  
TEL . 03-3961-5228

# 附属女子中学校・高等学校

## 中学「オープンスクール」

7月27日(土)、受験生を対象に「夏のオープンスクール」を開催いたしました。毎年好評な本校自慢のスクールランチ(有料)も召し上がっていただく盛りだくさんの企画でした。午前6、午後6の12講座に170人を超える小学生が参加し、楽しい一日となりました。

家政グッズや米粉のシフォンケーキ作り、チアダンス、水泳、ソフトテニスに汗を流しました。ガラス絵やプロのマンガ家が使う道具を使ったイラストを楽しんだり、英会話や思考力

問題にチャレンジしたりと有意義な時間を過ごしました。在校生もこの日のために準備を重ね、「おもてなしの心」で対応し、皆さん笑顔でお帰りになりました。

保護者の方々には施設見学会・説明会を実施し、アドミッションの生徒が活躍して、英語の授業の発表もしてくれました。11月16日(土)には「秋のオープンスクール」を開催します。大勢の受験生においていただけるよう準備を進めてまいります。(入試・広報部)



アドミッションスタッフ生徒による学習アドバイス



当日の講座の様子



手芸講座の様子



ドリルチーム体験の様子

### 【今後の中学校行事予定】

#### ▶学校説明会

- 11/ 9(土) 14:00~16:00 中3学年による家政紹介
- 12/15(日) 10:00~12:00 ★入試体験プログラム(予約制)
- 1 /12(火) 10:00~12:00 受験直前アドバイス

※説明会の参加予約はイベント予約サイトで受け付けます。  
(<https://mirai-compass.net/usr/tkaseiuj/event/evtIndex.jsf>)

#### ▶秋のオープンスクール【予約制】

- 11/16(土) 14:00~16:00 部活動・授業体験ができます。

#### ▶スクールランチ試食会【予約制】

- 学校紹介とスクールランチの試食会です。各回の予約申込は約1か月前より受け付けます。
- 11/23(祝・土) 11:00~13:00 小学4~6年生の受験生 およびそのご家族(計3名まで)
  - 2 /23(祝・日) 11:00~13:00 新小学5・6年生の受験生 およびそのご家族(計3名まで)

## 中学 合宿報告『長南町に行ってきました!』

7月29日(月)~30日(火)の2日間、中学調理部・理科部合同で、校祖渡邊辰五郎先生の生誕地である長南町にて合宿を行いました。廃校を利用した「仲間と泊まる学校「ちょうなん西小」」の名称の通り、両部員の親睦を深めるとともに、体験を通して探究する力をつけることを目的としました。

初日は、大自然を感じることでできるリポートレッキングと特産の紅あずまを利用した酒造工場、蜂蜜絞りを体験できる蜂蜜工房を見学しました。

2日目の午前中は調理部が太巻き寿司作り、理科部が水質調査、午後はブルーベリー狩りと充実した合宿となりました。2日目の朝には、長南町の平野貞夫町長が訪ねてくださり、あたたかい歓迎の言葉とともに、長南町のお米まで差し入れていただきました。校舎をバックに町長と記念撮影もして、生徒たちは感激していました。

合宿を通して学んだことやご縁を大切に、今後も活動の幅を広げて行きたいと思っております。



ちょうなん西小をバックに平野町長と記念撮影



古敷谷でリポートレッキング

## 中学 中学生にとっての卒業論文 ～中学スピーチ大会～

中学校では、年に2度スピーチ大会を実施しています。保護者会と同時開催のクラススピーチ大会では、生徒一人ひとりがクラスメイトに向けて、自分の考えを自分の言葉で発します。12月には選抜者が全校生徒の前で発表する全体スピーチ大会があります。そこでは、クラスや学年の枠を越えた様々な生徒の考えが聴けます。テーマや発表方法は、学年が上がるとレベルアップし、中1では「自分を知る」というテーマで原稿を基に発表し、中2では「『働く』を知る」というテ

マで原稿を見ずに発表。中3では「社会を知る」というテーマで各自が作成したスライドを基に発表します。

自分で研究課題を決め、調べ、ボランティア体験などの実体験も経て考えをまとめていく作業は、さながら卒業論文のようなものです。この行事から、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力といった、「学力の3要素」と言われる力も育てていきたいと考えています。

(中学3学年主任 芥絵奈)



クラススピーチの様子



全体スピーチ大会の様子

# 附属女子中学校・高等学校

## 高校 「部活動体験」(受験生向け)

梅雨明けとともにやってきた猛烈な暑さ。今年度最初の部活動体験はこの猛暑の中、実施されました。昨年度を大きく上回る予約をいただき、会場を二つに分けての開会式後、5つの部活動体験を実施しました。

映画化された影響もあり人気の高まる競技かるたでは、心地よい緊張感の中、音に集中する真剣な眼差しがありました。食物研究部には36人の受験生が参加。2時間で6種類のパンを焼

き上げるために、2・3年生の部員が丁寧に準備をしてくれました。各班では、パンの作り方だけを話題にしているわけではなく、日頃の学校生活の様子、女子校の良さを伝えるなど、多方面の話題を交え作業を進めていました。華道部は季節先取りの涼しさを感じさせるリンドウを主役にしたアレンジ。熱心に取り組んだソフトテニス部、図書・文芸同好会も含め、9～11月の部活動体験にも多くの受験生の参加をお待ちしています。(入試・広報部)



華道部の部活動体験



食物研究部の部活動体験

## 高校 高大連携「高1・2年生対象 東京家政大学模擬授業」

東京家政大学・東京家政大学短期大学部の学科・科での学びや授業内容や雰囲気、充実した施設設備などを体感できる機会として、高校1・2年生を対象とした模擬授業を行っています。今年度は、11月7日(木)に実施の予定です。

高校生は、児童学科・保育科/児童教育学科/栄養学科・栄養科/環境教育学科/服飾美術学科/造形表現学科/英語コミュニケーション学科/心理カウンセリング学科/教育福祉学科/子ども支援学科/看護学科/リハビリテーション学

科の各学科・科から2講座(健康科学部は1講座)を受講します。毎年、大学の先生方には高校生が興味関心を持つようなテーマで、大学の講義を高校生に分かりやすく置き換えて授業を展開してもらっています。附属高校出身の学生から大学生活の話や聞く機会もあり、生徒の主体的な進路選択の助けとなっています。模擬授業の他、3年生には学科別説明会、家政大・短大への進学が内定した生徒には、先輩大学生の話や聞く機会を設けています。(進路指導部)

### 【今後の高校行事予定】

#### ▶ 学校説明会

11/17(日) 10:00~12:00 ★家政の進路実現  
12/ 8(日) 10:00~12:00 受験直前アドバイス

★「成績UP講座」を開催します。(説明会開始時刻1時間前より)  
※説明会の参加予約は下記イベント予約サイトで受け付けます。  
(<https://mirai-compass.net/usr/tkaseiuh/event/evtIndex.jsf>)

#### ▶ 部活動体験会【予約制】

高校生と一緒に部活動に参加いただける企画です。  
部活動だけでなく普段の様子などどんどん質問して下さい。個別相談も実施しています。  
11/9(土) 14:00～ ※参加予約は下記イベント予約サイトで受け付けます。  
(<https://mirai-compass.net/usr/tkaseiuh/event/evtIndex.jsf>)

## 高校 合宿紹介『ドリルチーム部』

ドリルチーム部INGERSは7月30日(火)より8月2日(金)まで狭山校舎にて夏合宿を行いました。昨年に引き続き、狭山校舎のセミナーハウスに宿泊し、練習は大学の体育館をお借りすることで、充実した4日間を過ごすことができました。

合宿の目的の一つに、集団生活を通じて部員同士のコミュニケーションを深め、チームワークを高める点があります。今回の合宿は普段以上に長時間の厳しい練習でしたが、全員で声をかけあい、励ましあうことで当初のメニューをやり遂

げることができました。また、練習が終わってからも毎晩ミーティングを行い、意見を交換することで、チームワークの向上に努めました。

そして、8月4日(日)に麻生市民館で行われたチアダンスの発表会では、合宿の成果を活かしてチームとして一体感ある演技と迫力あるパフォーマンスを披露することができました。今後も、チアダンスの大会での上位入賞を目指してより一層練習に励み、チームとして成長し続けます。(顧問 松村道夫)



コーチの指導のもと練習に励みました①



コーチの指導のもと練習に励みました②



合宿の2日後に行われた発表会での演技を終えて



本番を想定したポンポンを持つ練習①



本番を想定したポンポンを持つ練習②

## 高校 夏休みスタートダッシュ勉強合宿

附属高校では、夏期講習が終了した後の7月29日(月)～8月2日(金)に「限界突破」をテーマに「夏休みスタートダッシュ勉強合宿」を狭山キャンパスの講義室、セミナーハウスを利用して実施しました。

参加者は3年生34人で、1日12時間以上の学習を目標として自学自習に取り組みました。普段の生活とは異なり、スマホもテレビも無い非日常の環境に身を置き、大学進学に向けて受験勉強を本格化させるための勝負の夏を有意義に過ごすきっかけとなりました。食事、シャワー、就寝以外の時間はほとんど勉強という強行スケジュールでしたが、参加者全員がそれぞれの目標に向けて、集中して勉強に取り組みました。

附属高校から子ども学部、健康科学部に進学した先輩からの激励を受けながら、充実した5日間を過ごしました。合宿は終わりましたが、大学進学を志す生徒たちの成長・進歩はまだまだ終わらせません。それぞれの「限界突破」を目指した挑戦は続きます。(進路指導部)



集中できる環境で切磋琢磨

# 東京家政大学 実就職率が全国240校中10位に！

大学通信が2019年3月卒業生の実就職率大学ランキングを発表。東京家政大学の实就職率\*は95.6%で、「卒業生数1000人以上」の大学で全国10位にランクインしました。

この好調な就職実績については、学生自身の不断的努力の結果ではありますが、教員による親身で熱心な就職指導や、キャリア支援課・学務課が中心となって実施しているキャリア・就職支援プログラムがその背景にあります。

今後、ますますグローバル化の進展が日本社会を変え雇用も変化中、人生100年時代を生き抜くためには、多様な価値観を受容するとともに、主体的に考え、自主的に行動する能力が求められています。キャリア支援課・学務課は各学科・科と連携し、各学科のポリシーのもとキャリア教育を推進してまいります。 \*実就職率とは、就職者数÷(卒業生数-大学院進学者数)×100で算出。



# TKU Summer Program 2019 2週間の外国人留学生 受け入れプログラムを実施



浴衣着付け体験

2019年6月23日(日)～7月6日(土)の2週間、本学の提携校から留学生9名が来日。東京家政大学や附属中高で学生・生徒と交流しながら、日本を多面的に知り体験するプログラムが実施されました。

プログラム内の講義では、日本のビジネスや教育といった内容から漫画やアニメなどのクールジャパンまで幅広い領域を学びました。さらに、学外アクティビティでは、風鈴作りや浴衣着付け、歌舞伎鑑賞などの日本文化にも存分に触れ、日光や浅草といった代表的な観光地も訪問しました。

「TKU Summer Program」では、毎年、外国人留学生の受け入れに協力していただくホストファミリーとパディを募集しています。オリンピック・パラリンピックの開催で盛り上がる2020年、ホームステイ受け入れや留学生のパディ等を通じて、日本に居ながら国際交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。(※来年度実施の詳細未定、受け入れに関する募集は該当者向けにポータル等で告知します。)

〈2019年度 参加者大学〉 マッセイ大学(ニュージーランド)、モンタナ大学(アメリカ)、エセックス大学(イギリス)、ウエスタンシドニー大学(オーストラリア)

お問い合わせ先：グローバル教育センター 03-3961-1861(平日9時～17時、土曜日9時～12時)

### 記事掲載希望の方へ

「Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ」へ各種募集・告知・報告等の記事を掲載希望の方は、学園運営室までお知らせください。次号は1月発行の予定です。<お問い合わせ先>学園運営室(担当：川島) メール：kawashima-n@tokyo-kasei.ac.jp

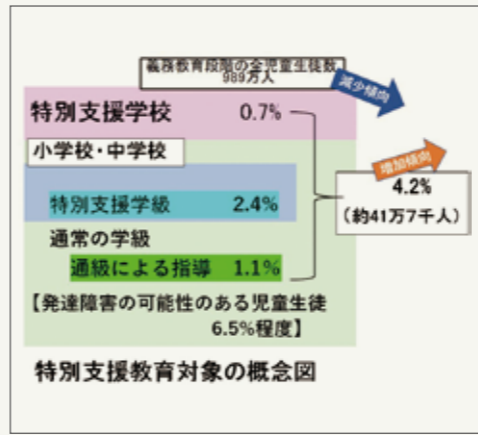
## 「ひとの生(Life)を支える学の構築」研究の挑戦

# インクルーシブな教育推進のための 障害理解促進モデルの構築 ―教員養成・現職教員研修教材の開発―

研究者：子ども学部子ども支援学科 \*野澤純子/宮島祐/阿部崇  
人文学部教育福祉学科 田中恵美子 研究協力者：末廣杏里 \*執筆

### 地域社会が大学の知を活用するモデル化

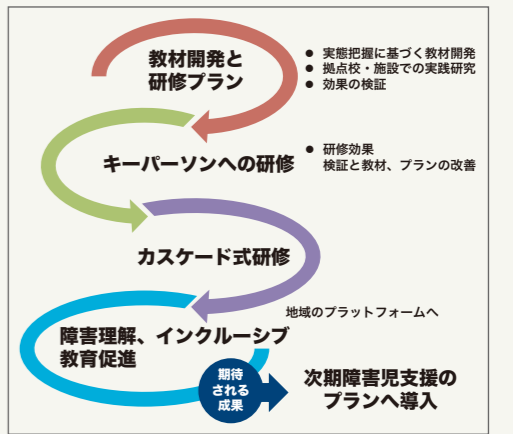
この研究は、小中学校の教員や将来教員や保育者を目指す学生が活用できる障害理解に関する教材作成を通して、自己研鑽を含む研修モデルを構築することが目的です。特別の支援が必要な子どもを理解し、子どもへの得意な部分を育て、行動問題を予防する環境整備や指導に関する教材を、学生や教員のニーズや好みに応じて、冊子や



### 研修や自己研鑽に利用しやすい教材開発を採用

近年我が国では、共生社会の形成を目指したインクルーシブ教育システム構築が進められています。特別支援教育を受ける義務教育段階の児童生徒は、2017年には4.2%に達し、その後も増加しています。さらに、近年の調査によれば、通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒は6.5%存在すると推定されています。これらにより、通常の学級や保育の場で特別なニーズのある児童・生徒が支援を受けながら学ぶことが増えてきました。

## “障害理解やインクルーシブ教育の推進を通じて、地域貢献できる研究をしたい”



しかし指導や対応が困難な事例も多く報告されており、指導上の工夫や組織的な取り組みによる教育の質の向上が課題となっています。本学近隣地域において2017年に実施された調査の結果でも、学校・地域における障害理解の推進、インクルーシブ教育の推進が指摘されており、大学として地域に貢献できる研究をしたいと思いつきました。現職教員の資質向上には、継続して学び続ける必要があるため、研修や自己研鑽に利用しやすい教材開発を採用することにしました。

### 現場との協働作業、地域との協力

研究の進め方については、これまでの保育園や幼稚園、小学校の巡回相談の実践や研究から、現場の先生方との協働作業が重要であること、インクルーシブ教育推進は、幼少期からの一貫した取り組みが必要であることが指摘されており、地域の保育所・幼稚園、小中学校にご協力をお願いして進めています。一年目は、教員のインクルーシブ

### 教員や学生の資質向上が共生社会の形成に貢献

障害のある人もない人も地域で必要な支援を受けながら暮らすことが当たり前になる共生社会を実現するために、将来社会を担う子どもたちの障害理解を育み、また特別な支援が必要な子どもが適切な支援を受けることは重要です。この研究を通して、子ども達に教える立場である教員や教職課程の学生が、インクルーシブ教育に関する知識・技術の習得や障害への理解を深めることにより、間接的に共生社会の形成に貢献できると考えています。

研究メンバーは、特別な支援を必要とする人を対象とした研究者という点は共通していますが、それぞれの研究分野は、教育、医療、福祉、心理、芸術と異なっています。子ども達の豊かな人間性を育むために、異なる領域の研究者と協力して包括的な研究ができるよう心がけています。

学校の先生は多忙です。最終的には、資質向上や業務の効率化につながる研究ではありませんが、研究の過程で先生方のお時間をいただきながら進める部分もあります。そのため、授業がない休み期間を使うなどだけでなく、先生方が参加しやすかったと感じていただけるような方法を模索しながら進めています。



# 理事長コラム “世界を生きる”

学校法人渡辺学園理事長 菅谷定彦

## 日経ニューヨーク特派員時代②

# 巨額借金で赤貧生活から脱出

映画「ティファニーで朝食を」(1961年)を見た人は少なくないはずだ。1953年「ローマの休日」の王女役でアカデミー主演女優賞を獲得して以降、トップスターの地位を確立したオーディリーヘップバーン演じる主人公ホリーは、若く魅力的だが安アパートで貧乏生活の日々。日課は、毎朝マンハッタン五番街のティファニー宝飾店の前に立ち、開店前のショーウィンドーでパンをかじりながら将来を夢見ることだった。

主題歌「ムーンリバー」がアカデミー主題歌賞に輝いたこの名画の封切りから10年後の1971年、日経ニューヨーク特派員として赴任して半年間の私は、ホリーに近い赤貧生活の日々だった。本社から支給される月1、200ドルの特派員経費では普通に生活、仕事をしても月600ドル近くの赤字が出るためだった。

1、200ドルは当時の1ドル360円換算で43万円強だから、私も東京出発まではまずまずの金額だと思っていたのだが、生活実感は1ドル≒200円前後。360円の平価はごつみても大幅な円安で、一步譲って250円ベースのドル換算では1.44倍の1、730ドルない



愛車ダッジ・ダートとゴルフ場で(1971年8月)

と暮らせない計算になる。この金額を360円で計算すると63万円と日経の役員クラスの給料なので、本社に文句を言っても受け入れられる訳がない。国内の給料とボーナスは子供2人を抱えた家内に渡す約束でこれを破ることはできない。当時の毎月の出費は、マンハッタンから



ワシントン郊外のアーリントン墓地で、妻・娘たちと(1972年5月)

ほど近いクイーンズ区にあるゴキブリ出沒の安アパートが2ベッドルームで225ドル、単身赴任で仕事柄外食の多い飲食費は800ドル、クライスラーのリカード社長の推薦で購入した大衆車ダッジ・ダートのローン返済250ドル。来客の接待200ドル。タクシーを含む交通費、ガソリン代150ドル。オペラ、ミュージカル、ゴルフなどレジャー費150ドルの合計1、775ドルで経費を575ドルオーバー。年末に家族が来れば当然出費はかさみ、財政破綻は確実だ。

ニューヨークとワシントンの日経特派員(当時は2名ずつ)は定期会合や取材でしばしば顔を合わせた。ニューヨークが赤貧ならミュージカルやオペラも無いワシントンは極貧だという話になり、こんな体験も将来役に立つよね、と慰めあうのが常だった。

しかし折角世界の中心地ニューヨーク

で3年間過ごすのなら、年中赤貧では気が持たず、妻もいい仕事もできない、思い切って自己投資をしよう。そう考えた私は、71年夏、在米日本人への貸し出しを解禁したばかりの邦銀支店長に依頼し、金利込みで1万ドル、円換算360万円を借金して、休日は船便で送られてくるカビの生えたインスタントラーメンを3食食べる時もあった赤貧生活を脱出。妻子を連れてのボストン、ワシントン旅行や、米国の有名ゴルフコース巡りをするなどアメリカ生活をエンジョイすることが出来た。

74年3月、帰国となり車や家財を処分して残った借金は8千ドル。ニクソン・ショック(前述)の結果1ドル≒300円の円高ドル安になったものの、円建てで240万円の負債。3年前のニューヨーク出発前に60万円の借金があったから合計300万円。帰国後の年間所得は税込500万円だったが、ニューヨークで妊娠した三女を含め親子5人の生活で、清泉女子大学で教鞭をとっていた家内の収入を加えても手一杯。300万円は気の遠くなるような借金だった。

しかし天は真面目に頑張った人間を見捨てなかった。73年10月の石油ショックで物価が高騰、私の給与も74年以降2桁上昇が続いた。ドル安・円高も続きニューヨークに残したドル建て借金はどんどん目減り、一生涯返済できないはずが、1980年には全ての借金を返済できた。

(日本経済新聞社専務取締役、テレビ東京代表取締役社長・会長を歴任し、現在渡辺学園理事長)

※次号は、「米国トップ経営者群像」です。